

府中市長 高野 律雄様

## 2023年度予算要望書

新型コロナウイルス感染症の終息見通しが立たない中、円安と物価高騰が市民や事業者をさらに苦しめています。

日本共産党府中市議団が現在実施しているアンケート調査では、「暮らし向きが悪くなった」と答えた方が6割を超え、その要因として、物価高騰、コロナ禍の影響、年金の減少などをあげる方が多くなっています。

次に、「物価高騰の影響」についての設問では、「影響が大きい」「影響が少しある」との回答の合計は93%にもなっています。そして、対策として政治に求めることとして回答が多いものを見ると、1位：消費税の減税、2位：光熱費の補助、3位：賃金の引き上げ となっています。

このようなアンケート回答状況は、この間の府中市民の苦しい生活状況が非常に顕著に表れたものと思われます。

このような状況の中、府中市の2023年度予算編成においては、コロナ禍や物価高騰から市民の命、暮らし、健康を守り、事業者の営業を支える予算が求められています。

よって、日本共産党は2023年度予算編成に当たり、三多摩トップクラスの財政力をいかに発揮し、財政調整基金80億円も大胆に、柔軟に活用し、市民生活と営業をまもる予算措置を講じることを求め、以前からの継続的要望も含め要望するものです。

2022年10月31日  
日本共産党府中市議団  
日本共産党府中市委員会